2026 年度　地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター臨床研究審査委員会・倫理審査委員会（9 月）
会議記録の概要

開催日時	2026 年 9 月 11 日（金）16：00～17：20
開催場所	大阪国際がんセンター　6 階　大会議室
出席委員 ①医学・医療 ②法律・生命倫理 ③一般の立場 下線は外部委員 ※1：Web 会議システムにて出席 ※2：倫理審査委員会のみ出席	① 有田 英之、若松 透、甲斐 優吾、山根 康子、髙木 麻里、片山 和宏※1、今村 文生、平尾 素宏、吉波 哲大※1、盛 啓太※1 ② 泉 薫※1、松田 聰子 ③ 市野瀬 克己、土屋 康代、山﨑 洋※2

【臨床研究審査委員会】

- 資料 1（定期報告）

課題名	60 歳以上の食道癌患者に対する術前化学療法中のリハビリ・栄養介入のランダム化比較研究
統括管理者の氏名	宮田 博志
実施医療機関の名称	大阪国際がんセンター（単機関）
受付日	2026 年 7 月 1 日
委員の利益相反状況	当事者／利益相反により審査を外れる委員：なし
結論	承認

議論の内容

- 申請者より、提出された定期報告書に沿って説明があり、問題等なく研究が順調に進んでおり利益相反にも変更がない旨の説明があった。
- 審査の結果、全会一致で承認となった。

- 資料 2（変更申請）

課題名	高齢胃癌患者に対する術前リハビリ+栄養療法の効果を検証するランダム化比較試験
統括管理者の氏名	山本 和義
実施医療機関の名称	大阪国際がんセンター（単機関）
受付日	2026 年 7 月 1 日
委員の利益相反状況	当事者／利益相反により審査を外れる委員：なし

結論	承認

議論の内容

- 申請者より、提出された定期報告書に沿って説明があり、問題等なく研究が順調に進んでおり利益相反にも変更がない旨の説明があった。
- 審査の結果、全会一致で承認となった。

● 簡便審査および事前確認不要事項等の報告

＜簡便審査＞

課題名	切除可能進行食道扁平上皮癌における術前補助化学療法としてのフルオロウラシル+レボホリナート+オキサリプラチン+ドセタキセル(FLOT)療法の第Ⅱ相試験
統括管理者の氏名	宮田 博志
実施医療機関の名称	大阪国際がんセンター（単施設）
申請内容	変更申請
結果	承認
備考	大阪国際がんセンター臨床研究審査委員会標準業務手順書第 12 条に定める簡便審査が可能となる事項に該当するため、簡便審査にて 2026 年 7 月 13 日に承認となった。

＜事前確認不要事項＞

該当なし

＜軽微変更報告＞

該当なし

＜その他の報告＞

課題名	切除可能進行食道扁平上皮癌における術前補助化学療法としてのフルオロウラシル+レボホリナート+オキサリプラチン+ドセタキセル(FLOT)療法の第Ⅱ相試験
統括管理者の氏名	宮田 博志
実施医療機関の名称	大阪国際がんセンター（単施設）
報告日	2026 年 7 月 13 日
報告内容	未承認又は適応外使用の医薬品等を用いる特定臨床研究の研究対象者負担の費用に関するチェックシートの提出

【倫理審査委員会】

- 資料 3（新規申請）

課題名	職員を対象としたワクチン集団接種における心理的負担と会場環境の影響に関する研究
研究代表者／研究責任者	氏名：尾﨑 正英 実施医療機関の名称：大阪国際がんセンター（多機関共同研究)
委員の利益相反状況	当事者／利益相反により審査を外れる委員：なし
結論	継続審査

議論の内容

- 申請者から、新規申請について説明され、質疑応答を実施した。
- 審査の結果、全会一致で継続審査(委員会審査)となった。指示事項は以下の通り。

＜研究計画書＞

・ 実施体制に生物統計家を含め、研究の目的と整合性が取れるアンケート内容、評価項目等を検討し、各書類に記載すること。

・ 不同意とする人が介入にあたる音楽を聴いてしまうことや、研究参加に同意しても対象にならない状況となることを避けるため、研究対象外の日時について記載しておくこと。

・ 会場で流す音楽の音量の記録について検討すること。

・ アンケートに音楽に関する質問(好み、感想等)を設けることを検討すること。

・ 研究参加者の接種タイミングなどによりあらかじめ解析対象を絞り込む予定がある場合は、その旨を計画書に追記すること。

・ 研究計画書の修正に応じて、説明文書に必要該当箇所を反映させること。

＜アンケート(接種者用)＞

・ 質問 8 を研究計画書の内容に揃えること。

＜アンケート(運営スタッフ向け)＞

・ ⑧～⑩が同じような内容の設問となっているため、再検討すること。

- その他

・迅速審査等の結果報告を行った。

・実施状況、中止・中断・終了等に関する報告を行った。

以上